

FaceID ユーティリティソフトウェア  
ユーザ登録操作手順書  
Ver.1.0.0

2016年6月7日

株式会社システムイオ

## はじめに

本書は、FaceID F710X/F910（デバイス）で利用するユーティリティソフトウェアを使用して実際に認証用ユーザを新規に登録する操作の流れについて記述したものです。

## 準備

ユーティリティソフトウェアを起動しログインしておきます。

## ユーザ登録フロー

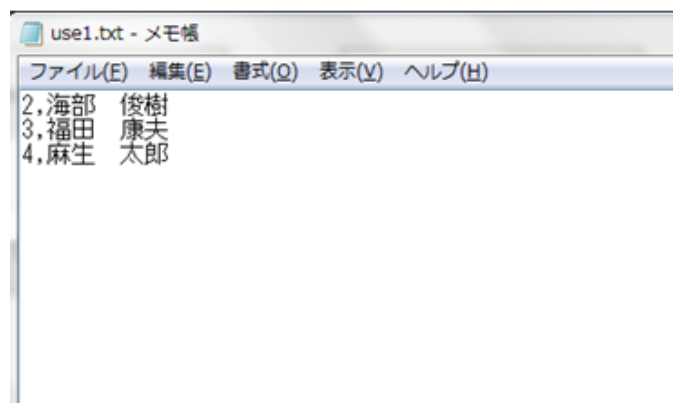
ユーザ登録は PC 側（ユーティリティソフトウェア上）の操作とデバイス側の操作が必要です。



## ユーザ登録手順

### ○CSV ファイル作成・更新

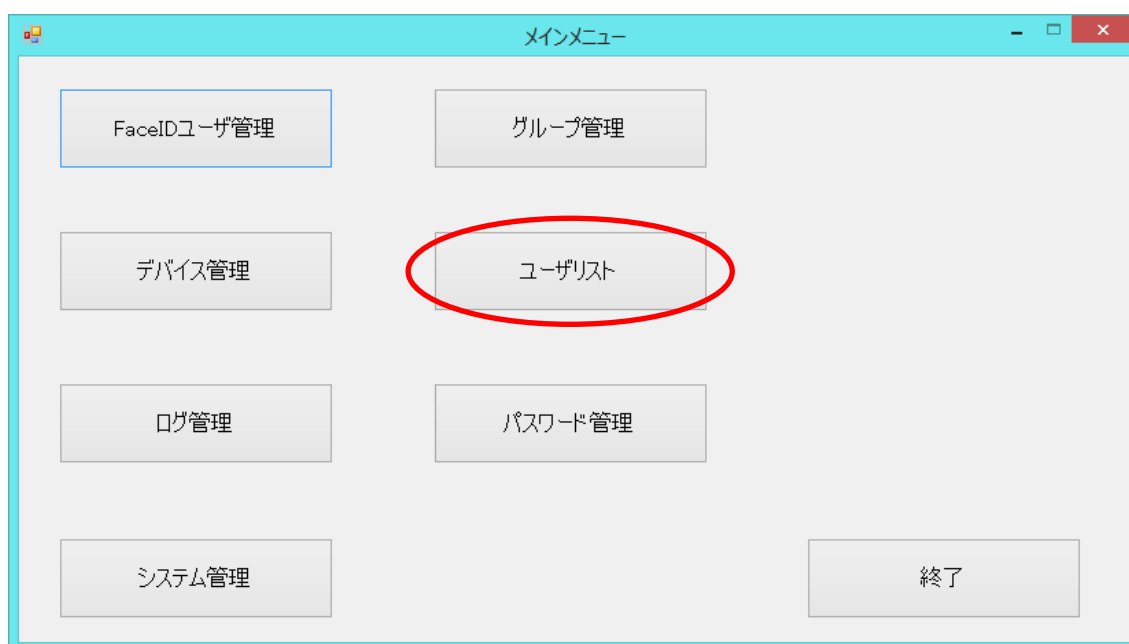
テキストエディタを使用して登録するユーザの ID 番号と名前を入力して CSV ファイルを作成します。ユーザの ID 番号、名前の順に入力します。CSV ファイルのファイル名や拡張子に制限はありません。



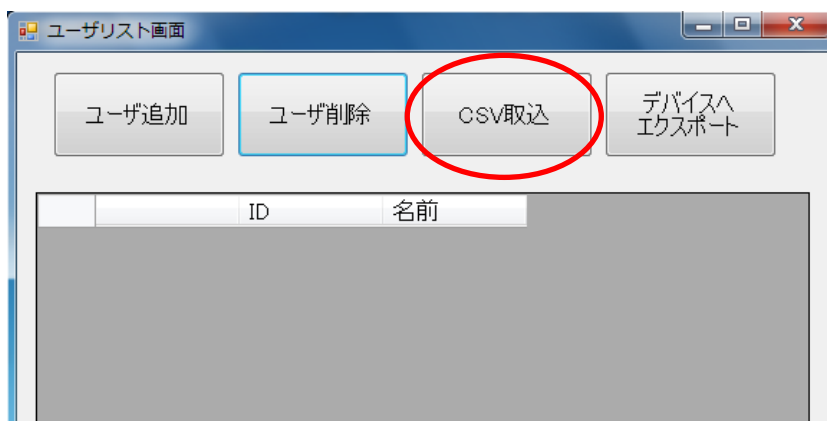
- ・ユーザの ID 番号 : 1 - 99,999,999,999 の 10 進数（先頭に 0 は使用不可）
- ・ユーザ名 : 半角 18 文字または全角 9 文字 まで

### ○CSV ファイル取込

ユーティリティソフトのユーザリスト機能を使用して作成して CSV ファイルを取り込みます。



メインメニューの[ユーザリスト]を押すとユーザリスト画面を表示します。



[CSV 取込]ボタンを押し、作成した CSV ファイルを選択します。

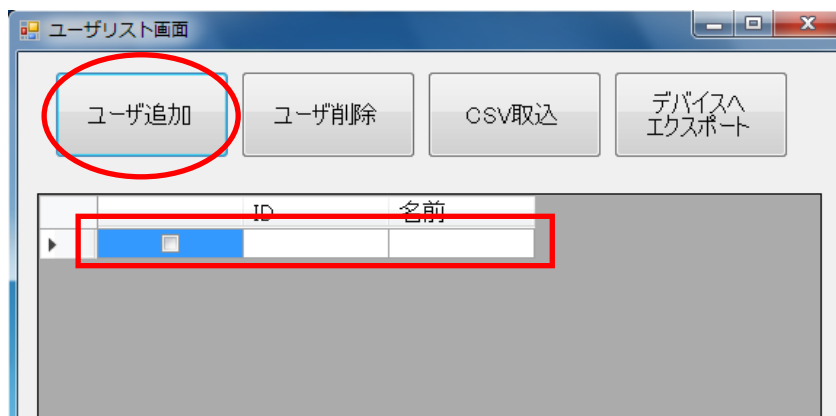
CSV ファイルが取り込まれるとユーザーリスト画面に取り込まれたユーザ情報が表示されます。

## ○ユーザ追加・修正

ユーザーリスト機能では取り込まれた CSV ファイルの内容を修正したり、新規にユーザ情報を追加することが出来ます。

- ・ 新規にユーザ情報を入力したい : [ユーザ追加]ボタンを押して表示される空白行に入力する
- ・ 表示されたユーザ情報を消したい : 削除したいユーザに☒して[ユーザ削除]ボタンを押す
- ・ 表示されたユーザ情報を修正したい\* : 修正したいユーザのセルを直接マウスで選び修正する

\*既にデバイスへエクスポートされたユーザ情報を修正することはできません。



[ユーザ追加]ボタンを押した状態

## ○デバイスへエクスポート

取り込まれたユーザリストの内容を顔登録するデバイスへエクスポート（転送）します。

デバイスへ転送したいユーザ情報を☑して[デバイスへエクスポート]ボタンを押します。



ユーザ情報は転送されユーザーリスト画面から削除されます。

☑を付けなかったユーザ情報は表示されたまま残ります。この残された情報はユーティリティソフトを終了しても残されます。ユーザーリスト画面から削除したい場合は[ユーザ削除]ボタンを使用して削除してください。

[デバイスへエクスポート]ボタンを押すとデバイス一覧が表示されるので、実際に顔登録に使用するデバイスに☑して[エクスポート]ボタンを押します。



## ○顔データ未登録一覧 表示

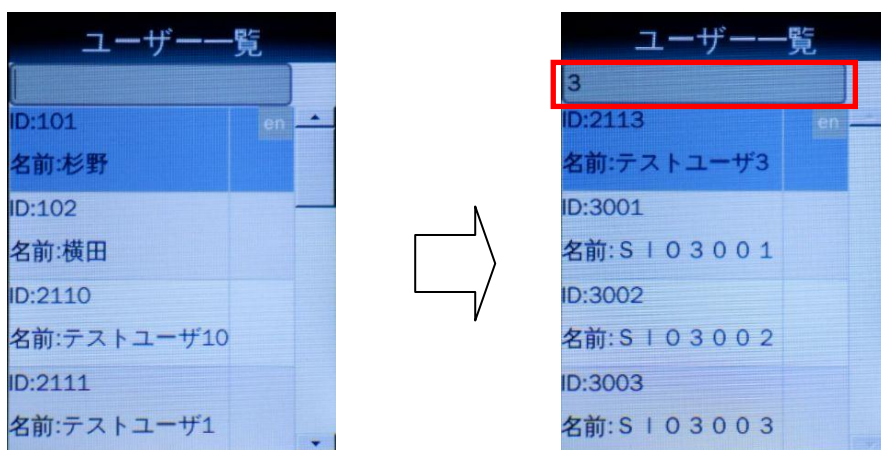
ユーティリティソフトからデバイスへ転送が行われるとデバイス側の液晶表示の「顔データ未登録一覧」に転送したユーザがリスト表示されます。

「顔データ未登録一覧」はデバイス側メニューの「ユーザ管理」→「ユーザー一覧」を選び表示します。

## ○リスト上のユーザ選択

「顔データ未登録一覧」に表示されるユーザリストは転送したユーザ数が多い程リスト数も多くなり、ID番号の表示が昇順に行われるので、大きな数値のID番号は何度もスクロールしないと表示されません。この為、検索機能を使用して顔登録したいユーザを表示させます。

デバイスに「顔データ未登録一覧」が表示されている状態でキーパッドから登録したいユーザに使用されているアルファベットまたは数字を入力します。表示は検索され、フィルタされた表示に変わります。



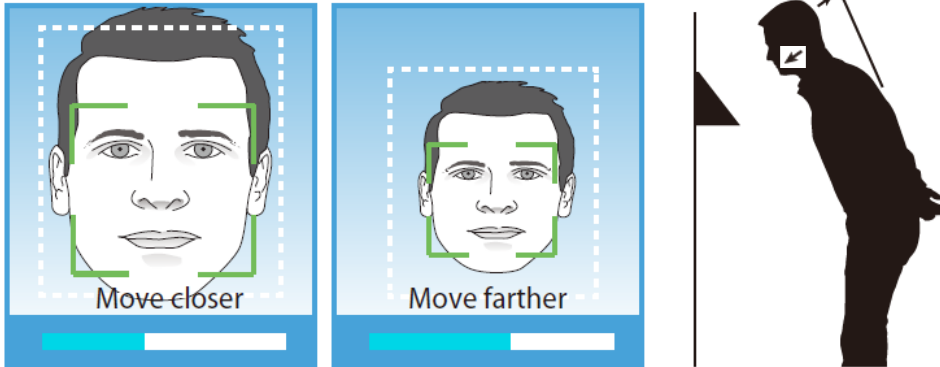
表示の中から顔登録したいユーザを[↑],[↓]キーにて探して選び[OK]を押します。

「顔データ未登録一覧」に表示されるユーザは顔データを登録していないユーザのリスト表示ですので、顔登録を行うとリスト表示されなくなります。

「顔データ未登録一覧」のリスト表示からの顔登録は複数のユーザを続けて行うことができます。顔認証テストを行う時などは、ユーザの顔登録を終了しデバイスを顔認証待ち状態にしておく必要がありますので、顔登録したいユーザが複数の場合は同時期に行う事を推奨します。

## ○顔データ登録

- ① 「認証方式選択」が表示されます。「顔認証」を選びます。
- ② 顔登録が始まります。画面の指示に従って顔を動かしたり保持したりします。



- ③ 「ユーザー権限」が表示されます。運用により「入退と勤怠」または「勤怠」を選びます。



- ④ 「ユーザー写真」モードが始まります。素早く顔が表示されている状態にして[OK]を押します。  
写真を残さない場合は[ESC]を押します。
- ⑤ ユーザの顔登録は終了しました。  
「顔データ未登録一覧」に未登録ユーザがある場合、表示は「顔データ未登録一覧」のリスト表示に戻ります。続けて他ユーザの顔を登録する場合はリスト上のユーザ選択から再度行います。終了する場合は[ESC]を押します。

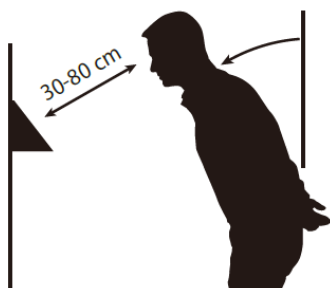
## ○顔認証テスト

登録した顔データで正常に認証できることを確認します。

テストは顔登録したデバイスまたは登録したユーザ情報がエクスポートされた他のデバイスで行います。  
(登録ユーザ情報のエクスポートについては「FaceID ユーティリティソフト操作手順書」を参照ください。)



- ① 顔認証待ちデバイスの正面から30～80cmの位置に立ちます。



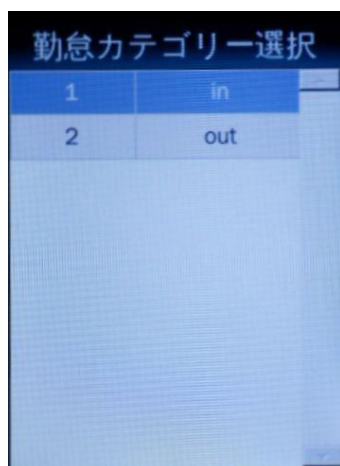
- ② 画面に顔を映し、1秒後に認証されます。

「認証できません」と表示されてしまう場合は、ユーザの顔データを正常に登録できていないと考えられる為、再度顔登録を行います。

顔データの再登録は「顔データ未登録一覧」からは行いません。「ユーザー編集」から行います。

(「ユーザー編集」の機能については F710X/F910 顔認証端末ユーザマニュアルを参照ください。)

- ③ デバイスにより「勤怠カテゴリー選択」が表示される場合があります。キーボードから選択する番号を入力するか[↑],[↓]キーで選び、最後に[OK]を押し確定します。



テストの場合は「勤怠カテゴリー選択」表示で[ESC]を押して終了します。顔認証結果は無効となり認証ログにも残りません。

## ○デバイスからインポート

ユーザの顔登録が終了し確認テストでも問題ない様でしたら、ユーザ情報をバックアップしておきます。操作としては顔登録したデバイスからユーザ情報をインポートします。ユーティリティソフトウェアの [FaceID ユーザ管理] を使用します。

(ユーザ情報のインポートについては「FaceID ユーティリティソフト操作手順書」を参照ください。)